
～D e s i r e～

水神宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

＼ Desire ＼

【Nコード】

N3494A

【作者名】

水神宮

【あらすじ】

貴方はモノにも『想い』はあると思いますか？このお話はある『モノ』と『少女』の出会いの優しいお話です。

…俺の存在に…気付いてくれ…

『こんにちは!!』

明るい少女の声が店内に響き渡る

『あら、久々ね!!』

…どうやら常連客らしい…

…どうせ俺には気付かないよな…

静かだった店内は少女の存在によって一気に華やいだ

『結婚式が多い季節でしょう?手を休めて話せなくてゴメンなさいね?』

『いいんです。造花のブーケって需要が高いんですね、初めて知りました。』

…ブライダルブーケ…

…本当は、俺だってそうなる筈だったんだ…

約30分後、店内を物色していた少女は何か注文する為にマスターの傍に近づく

『あれ?マスター、こんな所に赤いバラが…』

そう言って、俺を拾いあげてくれた

『綺麗、マスター、商売品を粗雑に扱ったらダメですよ。』

……気付いて、くれた……

『あの人も……よくバラを贈ってくれたっけ……』
憂いを含んだ微笑みで俺を見つめる少女

『ね、キミ、ウチにおいでよ。マスター、これ下さい。大切にしますから』

『あら、床に落ちていたのよ？ いいの？』
『バラには変わりませんし、一目惚れしたから。お幾らです？ あ、すみません、このバラ、ラッピングして下さい！！今まで床にいたなら、綺麗に飾られたかったでしょうし。』

……これは、夢……？

……俺で、いいのか……？

『マスター、綺麗にラッピングして頂いてありがとうございました』
『いいのよ。こちらこそゴメンなさいね？次回から管理に気を付けるわ』

『じゃ、また来ますから。失礼します。』

少女は元気よく店を出てから、微笑みつつこう言った

『キミも今日から私の家族だよ！！宜しくね？』

……ありがとう、気付いてくれて……

……俺……今日から一生お前の為だけに咲き誇るから……

……命別つ時まで、永遠に……

}
J
{

（後書き）

HPで評判の良かった作品です。感想頂けたら幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3494a/>

～D e s i r e～

2010年10月17日09時12分発行